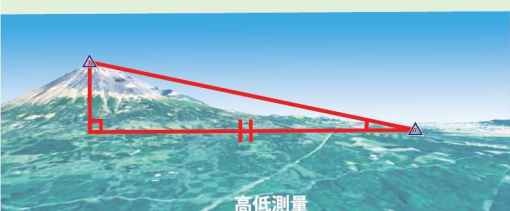
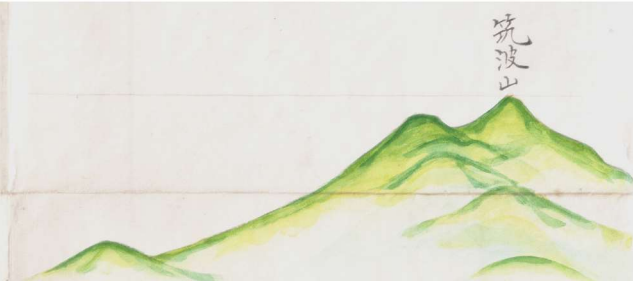


企画展



高低測量

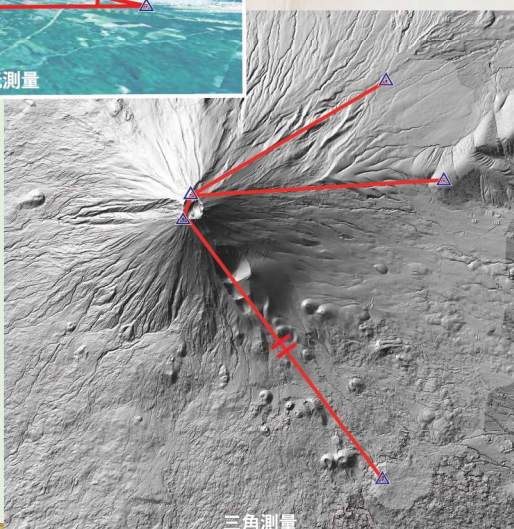


伊能大図 (1821年)

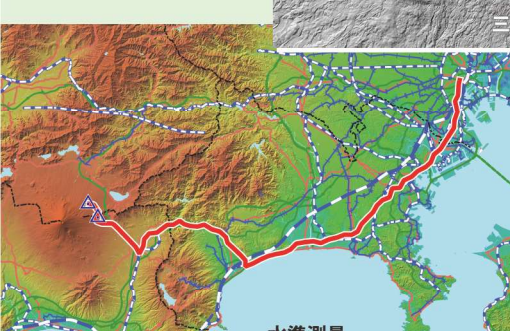
山の地図と測量



三等経緯儀



三角測量



水準測量



ツァイスⅢ号水準儀



縮製 20 万分 1 図 (1887 年)



平板測量



富士山



宝篋山



筑波山



八幡山

主な展示内容

- 高さの測量方法や変遷
- 地図の高さの表現方法や変遷
- 登山・ハイキングのできる山の紹介
- 登山には地形図が必需品
- 火山土地条件図やパノラマ写真 など



5 万分 1 地形図 (1905 年)



数値標高モデル (現在)



地図と測量の科学館

入場無料

2024年



地図と測量の科学館
MUSEUM / index.htm
https://www.gsi.go.jp/

3.19 (火)

地図と測量の科学館

6.23 (日)

茨城県つくば市北郷 1 番
国土地理院構内

開館時間 9:30-16:30 (入館は 16 時まで)

休館日 毎週月曜日
(祝日の場合は順次翌日)

TEL 029-864-1872

開催にあたって

企画展

山の「地図と測量」

- 地形図と標高 -

■あいさつ

日本の国土は約3分の2が山々で占められています。そこでは四季折々の美しく豊かな自然が広がっており、我々の暮らしに様々な恩恵を与えています。

国土地理院は、明治以来150年以上にわたり国土の測量と地図の作成に取り組んでいます。全国の山々に三角点標石を埋設し、近代国家建設の基礎となる国土の測量が進められてきました。現在もその基本的な手法は引き継がれ、電子基準点やGNSS、衛星画像や空中写真などを活用して地図が作成されています。

この企画展では山の「地図と測量」に焦点をあて、近代測量での高さに関する測量方法の変化や地図上の高さに関する表現方法の変化を紹介するとともに、登山・ハイキングには欠かせない地形図の利用方法を紹介しています。また、旅行など外出を楽しむ方が増えていることから、今回の展示では茨城県内の登山・ハイキングのできる山のほか、海外から訪れた方々にも人気のある山を紹介しています。このほか、これまで地図に記載されてきた山の表現方法の歴史的な変遷などについても紹介します。

この企画展が、山の魅力に新たな光を当て、山をいっそう深く知るきっかけとなればと思います。そしてぜひ身近な山に登っていただき、新たな発見があることを願っています。

【主な展示内容】

- 高さの測量方法や変遷
- 地図の高さの表現方法や変遷
- 登山・ハイキングのできる山の紹介
- 登山には地形図が必需品
- 火山土地条件図やパノラマ写真 など



地図と測量の科学館